

生産記録（有機農業（化学肥料及び農薬を使用しない農業）の取組）

農業者団体の名称	●●地区環境保全会
農業者名 氏名又は法人名	のうりん せろう 農林 太郎

土づくり技術を行わなかった場合は除いてください

ほ場番号	作物名	備考
11~15	水稲	コシヒカリ

生産記録番号
3

1 栽培管理（有機農業（化学肥料、農薬を使用しない取組））

(1) 作業工程

作業名	実施時期(月日)	備考
播種	令和〇年4月20日	
定植	令和〇年5月10日	
収穫終了日	令和〇年9月15日	

(2) 使用肥料、使用

【使用肥料】

資材等の名称	使用時期(月日)	資材証明書	使用目的	備考(使用量など)
①たい肥 (たい肥の原材料)				
牛糞堆肥(自給) 牛糞、もみ殻、米ぬか	3月25日	別添	土づくり	800kg/10a

自給資材の場合、添付書類にて原材料を証明してください。購入資材は、対象資材として適当なものであることがわかる資料(パンフレット、業者の資材証明等)を添付してください。

生産過程等において、使用した全ての資材を記載してください。※有機JAS認定を受けている場合、認定書(対象ほ場一覧含む)の写し及び取組実績の提出により、生産記録の提出を省略することができます。

②肥料				
●●培土特号	4月20日	別添	育苗用土	3kg/箱
●●乳酸	4月20日	別添	育苗用土のPH調整	25kg/10a
味好特号	4月30日	別添	元肥	25kg/10a
米ぬか(自給)	5月10日	別添		30kg/11a
味好特号	7月25日	別添	糞肥	15kg/11a

①土づくりのための技術の内容

- たい肥等有機物資材施用技術
- 緑肥作物利用技術
(緑肥作物の種類:)
- 都道府県が定めた技術
(内容:)

(注) 該当する□に、■または✓を入れること。(以下、同じ)

エコファーマー要件は廃止されましたが、有機農業の取組に関しては引き続き「土づくりのための技術」の実施が必要です。

【使用農薬】

農薬名(剤型等、商品名)	使用時期(月日)	資材証明書	使用目的	備考(使用量など)
温湯種子消毒	4月1日		種子消毒	60℃10分

含めて記入する。

資材名(剤型等、商品名)	使用時期(月日)	資材証明書	使用目的	備考(使用量など)

2 有害動植物の防除

<input checked="" type="checkbox"/>	耕種的防除(適地適作の作物や品種の選定、健全種苗の利用、耕起・中耕、被覆植物の利用等)
<input type="checkbox"/>	物理的防除(種子の比重選、光線の遮断、誘蛾灯・防蛾灯の利用、防虫用ネット・粘着トラップの利用、人力又は機械的な)
<input type="checkbox"/>	生物的防除(拮抗微生物の利用、捕食性及び寄生性天敵の利用等)

3 遺伝子組換え技術の利用及び放射線照射の有無

項目	備考
遺伝子組換え技術の利用の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
放射線照射の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

4 使用種苗

作物名	種・苗の別	入手方法	購入先	種苗の種類	使用農薬名	有機種苗の入手困難な理由	備考
米	種	自家採種		有機			ほ場②、③
ほうれん草	種	購入	〇〇種苗(株)	非有機(農薬使用)	チラウム	品種の維持更新	ほ場①

5 使用禁止資材の飛来・流入防止措置

①緩衝帯の設置

具体的な措置内容	近隣ほ場との隔離距離(m)	備考
緩衝帯を設置した。	5	ほ場②、③
近隣に農場が存在しないため、特別な措置は必要ない。	0	ほ場①
道路等により近隣ほ場と区分されている。	0	
境界域で別の作物を栽培している。	0	

②水管理(水稲取組ほ場のみ記載)

具体的な措置内容	備考
水口に活性炭を設置した。	ほ場②
浄化池を設置した。	ほ場②
用排水兼用水田ではないため、特段な措置は必要ない。	ほ場③

③機械・器具

機械・器具名	使用形態	利用状況	保管場所	洗浄方法	備考
田植機	<input checked="" type="checkbox"/> 有機専用 <input type="checkbox"/> 慣行併用	<input checked="" type="checkbox"/> 個人使用 <input type="checkbox"/> 共同使用	納屋	—	ほ場②、③
コンバイン	<input type="checkbox"/> 有機専用 <input checked="" type="checkbox"/> 慣行併用	<input type="checkbox"/> 個人使用 <input checked="" type="checkbox"/> 共同使用	共同保管庫	水洗	ほ場②
耕うん機	<input type="checkbox"/> 有機専用 <input checked="" type="checkbox"/> 慣行併用	<input type="checkbox"/> 個人使用 <input checked="" type="checkbox"/> 共同使用	共同保管庫	使用前に水洗	ほ場①

原材料が自給資材の場合や地元地域で生産された資材で、申請者がその生産状況を確認出来る場合、原材料として記載した資材以外は混入していない旨の自己申告を欄外に記載するか、添付書類にて報告してください。

6 農業者団体への提出・保管する書類

- 資材証明書(有機JAS規格の別表の肥料・農薬の使用基準を満たしていること等を証明する書類)
- (注)農業者団体に提出(原本は農業者保管)する書類名の□に、■または✓を入れる。

・「肥料等」欄に記載した自家製の牛ふん堆肥は、牛ふん、稲わら以外の資材は含まれていません。牛ふんは、○○地区の○○牧場から譲渡されたもので、牛ふん以外の資材は含まれていないことを確認しています。

・米ぬかは、自家で精米した際に生じたもので、米ぬか以外の資材は含まれていません。

種子の購入伝票等(品種名のわかるもの) 出荷・販売伝票(10アール未満の取組の場合)

7 炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合(加算措置を適用する場合)

堆肥施用技術

堆肥の名称(種類)	C/N比	堆肥施用量(kg/10a)	堆肥施用時期(年月日)※	備考※
牛糞もみ殻堆肥	30	955	令和○○年 10月 1日	水稲

【追加提出書類】 農業者団体に提出(原本は農業者保管)する書類名の□に、■または✓を入れる。

- 出荷・販売伝票(10アール未満の取組の場合) 施肥管理計画 土壌診断結果書類 堆肥の購入伝票等(※) 堆肥の原材料のわかる資料 堆肥の成分証明書
- ※ 堆肥を譲り受ける場合はその証拠書類(伝票、取引書類等)、自給堆肥の場合は堆肥原料、その量、堆肥製造期間、堆肥製造場所、製造した堆肥の量等を記載した書類を保管。

散布量÷面積で計算した数量を記載ください。

(注)加算措置の対象となるのは基本単価(4,400円)の要件を満たすものです。水稲で概ね1t/10a以上、水稲以外で概ね1.5t/10a以上の施用が必要です。

緑肥の作付け

作業名	実施時期	播種量(kg/10a)	標準播種量(kg/10a)(注1)	備考
播種	年 月 日			
農地還元(すき込み)	年 月 日			
栽培期間(注2)				

(注1)標準播種量には、カタログや都道府県の栽培技術指針等で示されている播種量を記載すること(播種量は、標準播種量以上の播種を行うことが必要)。(注2)播種から農地還元までの期間を記載すること。

【追加提出書類】 農業者団体に提出(原本は農業者保管)する書類名の□に、■または✓を入れる。

- 緑肥の作付に用いた種子のカタログ等種子購入伝票等 出荷・販売伝票(10アール未満の取組の場合)

対象活動	
<input type="checkbox"/> カバークロープ	(作物名)※
<input type="checkbox"/> リビングマルチ	
<input type="checkbox"/> 草生栽培	品種:

※ 緑肥の作付に用いた作物名及び品種名を記載